いなづま

五稜郭公園で打ち上げられた花火　　撮影：伊東　照勝

ご挨拶

理事長　大倉　直

春の気配もようやく整い、桜のつぼみがほころぶ頃となりました。組合員の皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年の冬は、全国的には記録的な大雪にみまわれましたが、函館市に関しては、比較的雪も少なく、昨年と同様に過ごしやすい冬だったと思います。

トランプ大統領が就任して二ヶ月が経ち、毎日のように追加関税のニュースが飛び交っていますが、パレスチナ情勢での停戦、人質解放や、三年に及び泥沼化しているウクライナ戦争での停戦交渉など、トランプ大統領お得意のディール（取引）で、頑張っていただき、戦争が早期に終結し、平和が実現されるよう心より期待しております。

日本においては、昨年の衆議院選挙で自民党が少数与党政権となり、野党の政策も受け入れないと政権運営が出来ない状況で、年収一〇三万円の壁の引き上げや高校無償化など、今まで問題されなかったことも議論されるようになり、少数与党政権でも良い方向に向かっているように感じられます。野党も自民党を批判するより、国民に支持される政策をどんどん提案していってもらいたいと思います。

また、経済では日銀が十七年ぶりに金利を引き上げるなど、ようやくデフレを脱却、インフレに変化して、多くの企業が価格転嫁「値上げ」を行い、それに伴い賃上げを実施しており、景気は穏やかに上向いていく傾向にあります。

我々電気業界も新築住宅が減少して大変厳しい状況ではありますが、二〇二七年の蛍光灯ランプの製造中止に伴う照明器具のＬＥＤ化など、皆さんと知恵を絞って、この難局を乗り切って行こうと思います。

明るい話題として、北海道電力は泊原発三号機の地震や津波対策の説明文書を書き直し、再稼働に向けた審査を行う原子力規制委員会にその補正書を提出して、二〇一三年に国の新基準に合わせた許可申請を提出してから十二年ぶりで四月下旬にもほぼ合格で公表され

る見通しのようです。原子力発電は、電力安定供給と脱炭素の両立という観点から大きな役割を担っており、現在、国の補助金が投入されている電気料金の実質的な値下げのため、無事、原発再稼働の許可がおりるように期待したいと思います。

さて、当組合の運営ですが、予定されておりました、各事業や各行事につきまして、組合員の皆さまのご協力のおかげをもちまして、順調に推移しております。ただ、北海道電力ネットワークの電設工事申込システム、電設工事ＮＥＴの利用率が二〇二四年上期で全道の平均四十八％に対しまして、函館は二十八％と全道で最低となっております。来年四月からは電設工事ＮＥＴへの全面移行の予定となっており、書面での電設工事申込が廃止となりますので、出来るだけ早期に書面申込から電設工事Ｎｅｔへの切り替えを宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、安全第一、無事故無災害に努めていただき、各組合員の皆さまのご繁栄とご健勝を心よりご祈念申し上げ挨拶と致します。

役員会だより

第五回役員会

六・十・二十九

一、経過報告・無し
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
　各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
(1) 組合員の異動について
(2) 「いなづま」第一五六の発行について
(3) ホームページ委員会の開催結果について
(4) 道工組および函館電協改革ワーキング委員会について
(5) 組合職員給与のベースアップについて
(6) 令和六年度上期末決算及び監査について
(7) 令和五年度住友団体共済配当金の還付について
(8) 組合新年会・永年組合員・永年勤続者表彰式について
(9) 東北七県電気工事業企業年金基金について
(10) 令和七年傘寿功労者表彰の推薦について
五、事業委員会事項
(1) 港まつりへの参加結果について
(2) 第四回電気工事技能競技北海道大会の開催結果について
(3) 電設工事Ｎｅｔ少人数での研修会について
(4) 高圧検満工事施工状況について
(5) 第一種電気工事士試験（技能）受験準備講習会の開催について
(6) 第五回電気工事技能競技全国大会の開催について
(7) イルミネーション工事について
(8) 低圧検満工事施工会社の公募について
六、その他
(1) 酒井元副理事長への弔意対応結果について
(2) ホームサーブについて
(3) 函館市長との懇談会について

第六回役員会

六・十二・六

一、経過報告・無し
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
　各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
(1) 中間監査の実施結果について
五、事業委員会事項
(1) イルミネーション取付工事施工結果について
(2) 第一種電気工事士試験（技能）受験準備講習会の開催結果について
(3) 第五回電気工事技能競技全国大会の開催結果について
(4) 低圧検満工事施工会社の公募結果について
六、その他
(1) 年末年始における組合業務について
(2) 事務局職員の年末賞与の支給について

第七回役員会

七・二・十八

一、経過報告
㈱オケヤ電気設備代表者ご令室逝去
㈱大原電気工業代表者ご尊父逝去
㈱平松電気工務所代表者ご尊父逝去
二、貸付報告・無し
三、各支部報告並びに提案事項
　各支部それぞれ支部会議を開催
四、総務委員会事項
(1) 組合員の異動について
(2) 令和六年度永年組合員・永年勤続者表彰式・令和七年新年会について
(3) 「いなづま」第一五七号の発行について
(4) 道工組および函館電協改革ワーキング委員会について
五、事業委員会事項
(1) 第五回電気工事技能競技全国大会の開催結果について
(2) 電設業務研修会の開催について
(3) 北電ネットワーク㈱道南統括支店・電気工事組合連絡協議会の開催について
(4) 二級引込線工事士・限定計測器工事士新規認定講習・認定試験の実施について
六、その他
(1) 第三十六回電気工事業全国大会（札幌大会）について
(2) 第二十二回道工組親善ゴルフ倶楽部交流戦について

組合行事

9月11日　北部支部会議
19日　道工業組合第四回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席（道電気会館）
全日　第二回北電ＮＷ・道工業組合本部連絡協議会に大倉理事長出席（道電気会館）
全日　道工業組合総務委員会に土谷副理事長出席（道電気会館）
20日　第一回函館電協改革ワーキング委員会
25日　第一種電気工事士定期講習（プレミアホテ

ル―ＣＡＢＩＮ　ＰＲＥＳＩＤＥＮＴ―函館＝六十七名受講）
27日　いなづま・ホームページ担当委員会
仝日　検満業者打合せ会議
10月3日　中央会研修会に伊藤事務局長出席（ホテル函館ロイヤルシーサイド）
4日　第三回道工業組合改革ワーキング委員会に中野理事出席（道電気会館）
8日　高圧引込開閉器操作委任講習（北電ＮＷ道南統括支店会議室・宮前実習場＝四名受講）
10日　北海道電力・ホームサーブ協業事業説明会（組合会議室＝七名出席）
11日　道工業組合第二回事務局長会議に伊藤事務局長出席（オンライン会議）
15日　正副理事長・事務局長会議
18日　東部支部会議
仝日　八雲支部安全パトロール
21日　第一回電設工事Ｎｅｔ少人数研修会
29日　第五回役員会
31日　検満業者打合せ会議
11月4日～イルミネーション取付工事（函館市西部地区・湯川地区）
6日　中間監査
9日～第一種電気工事士（技能）受験準備講習会（ポリテクセンター＝三名）
11日　道工業組合第五回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席（道電気会館）
仝日　道工業組合中間監査（道電気会館＝土谷副理事長）
20日　道工業組合事業委員会に大倉理事長出席（オンライン会議）
21日　高圧引込開閉器操作委任講習（北電ＮＷ道南統括支店会議室・宮前実習場＝五名受講）
28日　第五回電気工事技能競技全国大会に大倉理事長ほか十名出席（横浜アリーナ）
29日　検満業者打合せ会議
30日　渡島支部会議・忘年会

12月3日　低圧検満工事施工希望者への説明会（十社応募）
4日　江差支部会議（書面開催）
6日　第六回役員会
仝日　第二回北電ＮＷ道南統括支店・工事組合地区連絡協議会（組合会議室＝北電ＮＷ四名・組合七名）
10日　北部支部・忘年会
12日　第三回北電ＮＷ・道工業組合本部連絡協議会に大倉理事長出席（道電気会館）
19日　第二回電設工事Ｎｅｔ少人数研修会
25日　検満業者打合せ会議
1月14日　電気関係賀詞交歓会に伊東副理事長出席（ニューオータニイン札幌）
20日　商工懇話会総会に伊藤事務局長出席（花びしホテル）
23日　道工業組合第六回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席（道電気会館）
仝日　道工業組合事業委員会に大倉理事長出席（道電気会館）
仝日　北電ＮＷ・組合低圧検満合同安全パトロール（北電ＮＷ道南統括支店二名・組合三名・施工会社五社）
仝日　函館国際観光コンベンション協会新年会に伊藤事務局長出席（国際ホテル）
24日　令和六年度永年組合員・永年勤続者表彰式及び令和七年新年会（プレミアホテル―ＣＡＢＩＮ　ＰＲＥＳＩＤＥＮＴ―函館＝出席合計一〇六名）
29日　東部支部会議・新年会
仝日　電気安全セミナーに伊藤事務局長出席（亀田交流プラザ）
2月6日　検満業者打合せ会議
31日　第三十六回電気工事業全国大会交流会委員会に大倉理事長・土谷副理事長出席
12日　中央会役員会に伊藤事務局長出席（ホテル函館ロイヤルシーサイド）
13日　第二回函館電協改革ワーキング委員会
18日　第七回役員会

20日　第三回電設工事Ｎｅｔ少人数研修会
25日　第四回道工業組合改革ワーキング委員会に中野理事出席（道電気会館）
28日　第三回北電ＮＷ道南統括支店・工事組合地区連絡協議会（組合会議室＝北電ＮＷ五名・組合七名）
仝日　検満業者打合せ会議
3月1日　福島支部総会・新年会
4日　電設業務研修会（組合会議室＝五十六名受講）
7日　江差支部総会・新年会
10日　北電八雲ＮＷＣ・組合低圧検満合同安全パトロール及び意見交換会（北電ＮＷ八雲ＮＷＣ四名・組合三名・施工会社三社）
12日　二級引込線工事士・限定計測器工事士認定講習、認定試験（組合会議室＝引込線工事士十八名受講うち九名受験）
13日　道工業組合第三回事務局長会議に伊藤事務局長出席（オンライン会議）

新加入組合員の紹介

令和六年度加入の組合員を紹介いたします。

株式会社　ＳＤＴ（北部支部）
斉藤　崇
昭和五十八年七月十四日生
函館市桔梗町四〇三番地三四
電話　〇一三八―四六―八六四四
推薦人―梶原電気工業㈱・北興通信㈱
（加入年月日＝令和六年十一月一日）

組合員の異動

◎脱退
久保田電気工事店　令和六年十月二十日
㈲岡田電気商会　令和七年一月二十日

令和六年度 永年組合員 永年勤続者 表彰式 令和七年 新年会

近年、永年勤続者表彰の被表彰者の出席者数が減少傾向にあると感じ、過去の『いなづま』を紐とき、この式典が開催されることとなった経緯を調べてみました。

『いなづま』の書面に初めて永年勤続者表彰が登場するのは、昭和四十三年一月に発行された創刊号で、『第二回表彰式は十一月二十三日の勤労感謝の日・・・受賞者十年以上二十名、十五年以上六名出席のもとに挙行されました。』と記事があります。創刊号での記事でしたので、第一回目の永年勤続者表彰はいつ・どこで開催されたのか確認は出来ませんでしたが、勤労感謝の日に開催された意味を考えると、組合員企業で働く従業員の皆さまに組合員から感謝の意を表すという意味が込められているのではと感じます。

創刊号から二年後、昭和四十五年発行の第九号では、永年勤続者表彰について、『例年十一月二十三日勤労感謝の日の行われておりましたが、今年度より総会席上で表彰することとなった。』とあります。以降、数年、永年勤続者表彰に関する直接の記載はないものの、行事の実施一覧の中で総会と併せて開催されてきたと読み解くことが出来ます。

この後、確認できたのは、昭和五十四年発行の第四十五号で永年勤続者表彰が『十一月二十二日・・・挙行された。』とあり、再び勤労感謝の日と関連させて開催していたと読み解けました。また、昭和六十年発行の第六十三号では、『昭和五十二年度永年勤続者表彰式以来、勤労感謝の日の前日と定めて開催してきたが、電気工事の進捗が変化し十一月が繁忙期となり、表彰式に出席出来ない受賞者が増加傾向にあり・・・理事会でこのことについて審議され、適当な日時で一人でも多くの受賞者が出席出来るよう配慮したいと思います。』とあり、これ以降、昭和六十一年度より、それまで単独で開催していた新年会と永年勤続者表彰を併せて開催することとなったようです。

さて、令和六年度の永年組合員・永年勤続者表彰式並びに新年会はプレミアホテル－ＣＡＢＩＮ　ＰＲＥＳＩＤＥＮＴ－函館において、ご来賓二十六名、組合員、青年部、総勢一〇六が出席し、令和七年一月二十四日に開催されました。

永年組合員は八社、永年勤続者は八名が表彰されました。その詳細については別表をご覧ください。

式ではご来賓の田畑浩文函館市副市長、中村信吾北海道電力ネットワーク株式会社道南統括支店長よりお祝いのお言葉を頂戴し、続いての新年会では、来賓、組合員、青年部員が親しく懇親するなか、盛会のうちに終宴となりました。

次年度以降、この表彰式が開催されることとなった経緯を見つめ直すとともに、より良い日程、形態を検討して参ります。

令和六年度 永年組合員・永年勤続者表彰者名簿（敬称略）

（永年組合員）

事業所名
組合加入七十年　二社
㈲八雲電業社
㈲後藤電機商会
組合加入四十年　三社
協同電気通信㈱
㈲奥電機工事
㈲松橋電気
組合加入三十年　三社
㈱進成電機機械工業所
都市電気㈱
北興通信㈱

（永年勤続者）

事業所名	氏名
勤続二十五年以上　二名	
㈲五稜郭カスガ	佐藤元宏
樺電工業㈱	大川原隆
勤続二十年以上　一名	
㈱ケイソー	永井拓実
勤続十五年以上　四名	
㈲上ノ国電気工業所	森田亮
日興電気㈱	山上貴史
北興通信㈱	佐藤義和
北興通信㈱	山田敏一
勤続十年以上　一名	
北興通信㈱	甲田義和

お悔やみ

令和六年
十二月二十八日　㈱オケヤ電気設備代表者ご令室
桶谷　重美殿　ご逝去

令和七年
一月二十六日　㈱大原電気工業代表者ご尊父
大原　勝弘殿　ご逝去

二月十一日　㈱平松電気工務所代表者ご尊父
大谷　治身殿　ご逝去

はこだて冬フェスティバル・函館湯の川冬の灯り

十二月から三か月間、函館市西部地区と湯川地区を明るく照らした『はこだて冬フェスティバル』と『湯の川冬の灯り』の点灯期間が二月二十八日をもって終了致しました。湯川地区を施工いただいた㈱対馬電設さんと西部地区を施工いただいた㈱作並電気工事さんには、十一月という繁忙期に施工いただきましたこと、誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

本誌が三月末の発行となっておりますので、今号が皆さまのお手元に届き、また、ホームページ上でご覧いただいている頃には、撤去工事も完了していることと思います。

この事業は、ここ数年、同じ組合員の方に施工いただいておりますが、令和七年度以降も継続して実施されていくならば、また、観光行政に関わったイルミネーションに類する工事のみならず、外部から組合に対して何かしら新たな事業の投げ掛けがある際には筆者個人の見解でありますが、受注に関して何かしらのルールを作る必要があるのではと考えており、このことについては、次年度以降、検討していこうと思います。

我々、事業協同組合のあるべき姿とは、組合員の利益を追求すること、またそれが公平に展開されることであることと考えております。

当組合が関わるイルミネーション事業は、聞き及ぶ情報や現在置かれている色々な状況を分析すると、令和七年度以降、不透明に展開されるのではないかと危惧しております。

組合と組合員の利益のため、常にアンテナを高く保ち、時代の流れに沿い、変化には機敏に対応して参りますので、組合員の皆さまにはご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

電設業務研修会

今年度の電設業務研修会は、三月四日組合三階大会議室にて午前・午後の二部制で開催され、五十六名が受講しました。

今年度の電設業務研修会では、まず、北電ネットワークお客さまサービスグループにより、昨年七月に様式変更となった『負荷設備等内訳書』の作成時の留意事項の説明や現在展開中の『でんきＬｉｆｅキャンペーン』が紹介されました。

続いて北電ネットワーク配電工事グループからは、まず、メッセンジャー引込線が不要ではないかと思われる箇所に単独引込線を推奨するという内容について説明されました。とある北電ネットワーク管内でサンプリング調査をしたところ、既設メッセンジャー引込箇所でこの内容に該当する箇所が約四割に上るということで、北電ネットワークから、引込供給方法について、建築会社やハウスメーカーへ申し入れを行う予定となっており、組合員の皆さまには、現状、メッセンジャー引込線工事が外線工事会社へ付託されていることを考えると工期が短縮されることから趣旨をご理解いただき、ご協力のくださいますようお願い致します。

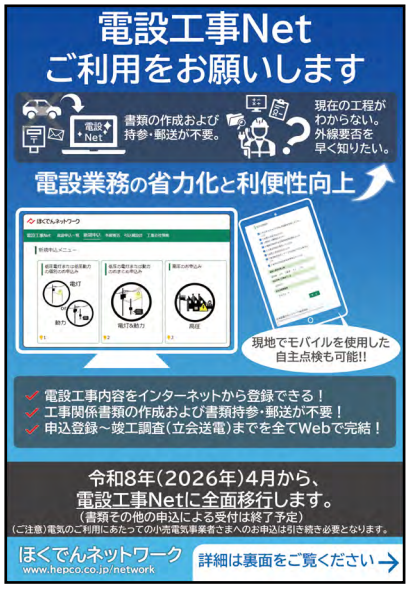
また、他の研修項目では、スマートメーターのセキュリティ教育の周知と関連して撤去したメーターは早めに返納して欲しいというお願いがあったほか、単二用新型計測器箱である『Ｓ３〇』の導入についての説明がありました。現在使用されている『２Ａ』同様、現行の運用では単二用計測器箱はあくまで、計測器箱が破損した際の修繕取替用として使用されるもので、単二の場合でも新設はミニシングルボックスを使用することとなっておりますのでご承知おきくださいますようお願い致します。もちろん新型計測器箱『Ｓ３０』においても同様の運用となります。

そのほかの研修項目では、電設工事Ｎｅｔが令和八年四月から完全義務化され、それ以外の方法での申込は出来なくなる予定であることが改めて周知されました。現在、北電ネットワーク道南統括支店管内は昨年四月から九月までのデータではありますが、電設工事Ｎｅｔのシステム利用率が全しゅん工調査数に対して二十八％と他の管内に比べ低調であります。講義では、システム利用率向上に向けたお願いがされたほか、模擬シナリオにてシステムの登録実演を行いました。模擬シナリオでの登録実演をご覧いただくことにより、現在、書面で提出いただいている方法より簡単で時間も短縮されると感じていただけたかと思います。加えて、このシステムが面倒だという意識レベルのハードルが下がること、また、パソコンへのアレルギーが解消されると幸いです。そして、『仮登録』状態までだとしても、少しでもシステムに触れ、練習していただく機会が増えることを望みます。

組合では、電設工事Ｎｅｔ完全義務化に向け、現在まで、計三回開催しております、受講者を五人に限定した『少人数での研修会』を継続して開催して参ります。北電ネットワーク配電工事グループ職員・組合職員によるマンツーマン指導を行いますので、ご案内の際には受講のご検討をお願い致します。

また、電設Ｗｅｂ同様、電設工事Ｎｅｔ完全義務化されることに合わせ、有料ではありますが、組合職員による代行入力サービスも実施致します。目下、詳細を検討中ですので、仕様が確定ししだいお知らせ致します。

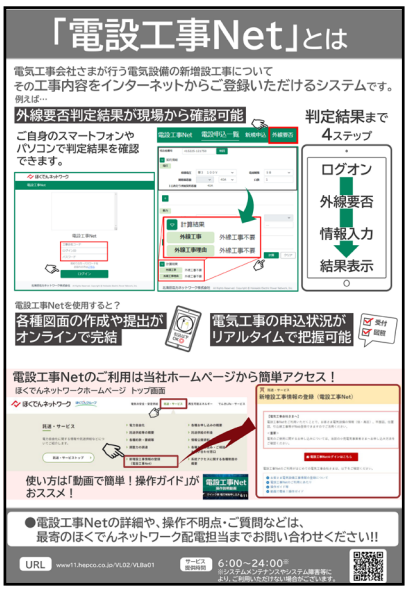
最後に、業務ご多忙の折、講師を勤めてくださいました北海道電力ネットワーク道南統括支店の皆さまには誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。



函館地方電気工事協同組合改革ワーキング委員会からの答申

全国の工業組合・協同組合にて改革ワーキング委員会が立ち上がり、組合が抱えている諸問題について検討されております。我々の上部組織、道工組でも令和四年十月より『道工組改革ワーキング委員会』が発足し、当組合から中野理事がこの委員会に参加をし、全道単位での組織強化・財政強化など未来を見据えたテーマで検討を進めています。具体的に、『財政・組織・事業』の三つのテーマで検討が進められ、現在まで四回の検討会議が行われています。特に財政に関わる課題では、近年、住宅着工件数がその費用の高騰を背景に減少傾向にありますので、それと比例して引込線と計測器工事量も減少していくことは必然で、北電ネットワークの工事手数料や後継者不足で減少していく組合員の賦課金にしか財政基盤を持たない組合は苦戦が強いられており、全道十一の全ての単協で実施された十年後のシュミレーションでも厳しい結果が出たようです。

当組合にも函館の電気工事組合が抱えている諸問題について、『組織を横断的に・少人数で・機動的に』動くことが出来るチームとして役員三名と事務局で構成する『函館地方電気工事協同組合改革ワーキング委員会』を昨年九月に立ち上げました。取り組むテーマ



を『人材確保・デジタル技術・財政強化』とし、目標を令和六年度内に役員会へ答申書を提出して承認を受け、令和七年度に答申した内容を事業化することとして活動を行うこととしました。

特に人材確保については、組合員企業に入職する若手人材を求める施策を行うことに主眼を置いています。このことは未来への投資であり、組合員企業が単体では苦戦する求人活動を組合のスケールメリットを活かし実施することで将来の組合員数の増加に繋げようというものです。ごく近い将来の組合の収入増加や即時の財政基盤の強化には繋がりませんが、人は石垣・人は城・人は堀であると考え、つまり組織運営の根幹は人材であると捉え、この事業については積極的に投資していきたいと考えております。具体的な内容については、本年五月に組合総会に向けて全支部で会議が開催されることと思いますので、改革ワーキング委員がその場に出席して説明させていただきますので宜しくお願い致します。

また、デジタル技術の推進では、各種案内のメール配信やホームページの活用を積極的に行いたいと考えております。各支部においても支部員への文書を発信する際にはメールを活用するなど、デジタル技術の推進にご協力のほど宜しくお願い致します。

組合の財政強化については、現在、北海道電力のインターネット電設申込システム（電設ｗｅｂ）の組合事務局による有償での代行入力を今年から実施しております。月間平均二十六件ほどのご利用があり、年間九十万円強の収入が新たに見込めそうです。これに加え、二〇二六年（令和八年）四月からは北電ネットワーク側の電設工事申込システム、『電設工事Ｎｅｔ』が完全義務化される見込みとなっておりますので、こちらも組合事務局による有償代行入力業務も完全義務化前に開始することを検討しています。この二つのシステム代行入力により直近の財政強化に繋がると考えております。

前述の事業以外にも組合員が求めるニーズをさらに深掘りし、組合員が受けられるサービスの強化を目指し、それが組合の組織強化につながるものと信じて当委員会は活動して参ります。

■今月の表紙について

今号の表紙は、五稜星の夢イルミネーションを背景にした冬花火です。ご承知のことと思いますが、五稜星の夢イルミネーションは、冬期間に特別史跡五稜郭の堀の周りを約二千個の電球で星形に彩るイルミネーションイベントで、一九八九年から市民ボランティアで作る実行委員会が毎年開催しております。積雪がある状態で五稜郭タワーから見下ろす日没時のイルミネーション点灯の瞬間が最も美しいと筆者は個人的に思っております。

当組合としては、このイベントの施工に関与はしておりませんが、我々が施工している『はこだて冬フェスティバル』や『函館湯の川冬の灯り』と同様の点灯期間（二月末日までの三か月間）ということもあり、また、こちらも我々と関係はありませんが、函館駅前や大門グリーンプラザのイルミネーションも含めて、ともに函館市の冬の観光を盛り上げたいものだと常々思っております。

今年度の五稜星の夢イルミネーションでは、十二月一日と二月二十三日の二回だけ公園内で花火が打ち上げられ、混み合う二月の打ち上げ日に五稜郭タワー展望台から、伊東副理事長に撮影していただきました。

編集後記

気になったシリーズいきます。昨年末、奥歯の違和感を感じ、歯科を受診すると欠けていて、金属のかぶせ物を交換しないといけないということで治療しました。治療を終えて支払時、えっ、こんなに高額なの？と気になって調べましたところ、ロシア・ウクライナ問題が関係しているようです。歯の保険治療に使われている金属「パラジウム（Ｐｄ）」は、ロシアが世界全体の四十％を生産し、経済制裁の報復で輸出を止めてしまったそうです。すでに、歯の治療で使用する銀歯（金・銀・パラジウム合金）は手に入りにくい状態で価格も高騰している状態らしいです。アメリカの大統領が代わり、停戦交渉の仲介をしているようなので、早く解決してもらいたいですね。

気になったシリーズ㈡は、函館に松屋という飲食店チェーン店が二店舗進出するようで、牛丼メジャー店舗が函館に揃うことになります。吉野家、すき家に慣れた函館民に受け入れられるのか、その味が気になります。

気になったシリーズ㈢は、今年の日本ハムファイターズが気になります。昨年の交流戦をエスコン観戦して以来、エスコンフィールドにハマりました。球場の世界最大のパナソニックの大型ビジョンの演出や球場内のグルメなど数回リピートで行きましたが、後半戦になりファイターズが二位を上下すると入場券すら入手困難になってしまいました。今年優勝できるか今から気になっています。

気になったシリーズ㈣は、青年部の部員減少です。昨年度、当組合青年部は四十周年を迎えましたが、その時の部員数は四十名弱、そして今年度の卒業部員が六～七名で次年度には三十名弱に減少してしまい、十年後の五十周年には、青年部は存在しているのか疑問です。レクリエーション大会、港まつりなど、青年部が主体となって運営してきましたが、今後組合全体で協力していかなければ実行できないことが懸念されます。組合イベント運営を青年部だけじゃなく組合員全員で作り上げる分岐点にきているかもしれません。

最後の気になったシリーズは、この広報誌「いなづま」のいなずまの意味とは。稲妻の語源は「稲のつま」が語源で、大昔、雷が多いと米が豊作になることが多い為、雷光が稲に当たると稲が子を宿すと考えられたそうで、電気とはほぼ関係のない言葉と知りました。電気工事業に携わる者としては、稲妻、稲光は何かと嫌なイメージですよね。

（Ｋ・Ｉ）

題字　小寺寛一（第二代理事長）

発行所　函館地方電気工事協同組合
編集　いなづま編集委員会
住所　函館市日乃出町７番22号
印刷所　龍文堂印刷株式会社

あしたの光で〝ここちよい〟を創ります。
東芝ライテック株式会社
北海道支店函館営業所
〒040－0001
函館市五稜郭町一－十四　五稜郭114ビル三階
TEL　五一－一六〇〇二
FAX　五一－一六〇二四

Panasonic
パナソニック㈱エレクトリックワークス社
北海道電材営業部
函館電材出張所
〒041－0808
函館市桔梗三丁目三四－一六
TEL（〇一三八）四七－六三三三
FAX（〇一三八）七四三七

kawamura
河村電器産業株式会社
北海道支店函館駐在所
〒040－0011
函館市本町六－五　協和函館ビル三階
TEL（〇九〇）六四八七－六三九三
FAX（〇一三八）三三－七四三七
北海道支店　〒003－0006
札幌市白石区東札幌六条一丁目二－三〇　札幌三信物流ビル四階
TEL（〇九〇）六五二九－九〇三八
FAX（〇一一）八二二－〇五〇四

ISHIGAKI
ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス
石垣電材株式会社
本　社　〒060－0006
札幌市中央区北六条西一三丁目一番地
☎（〇一一）二一〇－五二二一番
函館支店　〒041－0824
函館市西桔梗町五八九番地三一五
☎（〇一三八）四九－六二一一番
八雲営業所　〒049－3104
二海郡八雲町内浦町二三四－五
☎（〇一三七）六三－三二六九番

未来環境を語る・造る
エミヤエリアパートナーズ株式会社
函館営業所
〒041－0824
函館市西桔梗町五八九－四九
電話　四八－五七五一（代表）
本社　札幌・営業所　釧路、苫小牧、小樽

TANAKA CO.,LTD
情報社会をパフォーマンスする
田中商事株式会社
函館営業所
〒040－0072
函館市亀田町一三番八号
電話　四〇－〇八〇〇
本社・東京　営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸
株式会社
新光照明
〒042－0934
函館市広野町五番九号
TEL（〇一三八）五五－〇六六三㈹
FAX（〇一三八）五五－〇八一〇